

From JPMA

経済成長と国民の健康に貢献する産業を目指して

日本の経済成長にとって、世界に伍すイノベーション力を持つ製薬産業は重要な役割を担っている。同時に、革新的で有用性の高い医薬品の提供によって、国民の安心・安全な生活を可能にする社会の実現という責務も負っている。従って研究開発型製薬企業の団体である製薬協の使命は極めて大きい。

(5月21日 会長会見より)



日本製薬工業協会
会長 長谷川 閑史

日本製薬工業協会（製薬協）

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者中心の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。